

# AJU愛実

## 第52号 会報

編集: 特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実  
(大地の家／紙風船)

定価:一部100円

福祉の創造 エンパシー「他者の靴を履く」 / 理事長 戸田 真二

全体研修会・居宅介護事業所あみ

2021年度事業報告 / 2022年度運営方針

活動計算書

大地の家 (生活介護)

紙風船 (生活介護)

沖縄美ら海水族館物語 / 島しづ子

寄付者名簿



ブルーボネットに  
お出かけ  
大地の家

新作人形劇  
紙風船



## 福祉の創造

## エンパシー「他者の靴を履く」



理事長 戸田真二

『他者の靴を履く アナーキック・エンパシーのすすめ』の著者であるブレイディみかこさんは「エンパシー」意見の異なる相手を理解する知的能力を「他者の靴を履く」力と表現され、多くの話題と共に呼びました。以前NHKの取材では、私が保育士の資格を取ったときに「子どもと話すときは、必ず腰を下ろして、子どもと同じ目の高さでしゃべりなさい」と何度も指導を受けたことを例えに話されていました。子どもに寄り添うことだけではなく、子どもの目線の高さになつたら、どれだけ他の保育士や大人が大きく見えるのか、そこから話しかけられたときに、どれだけ子どもが威圧感を感じるのか。同じ視点に下りることで見える景色や感情など、様々な気づきをイメージすることができることを語られていました。

「シンパシー:sympathy」と「エンパシー:empathy」は、どちらも辞書を引くと「共感」という意味が書かれています。しかし、諸説ある中でも心理やカウンセリングの現場ではこれが明確に使い分けられているようです。シンパシーの方が一般的には馴染みがあり、相手を気の毒に思うようなニュアンスが強く、心情や気持ちを察し、共感をベースに「同情」の要素が強い特徴を持っています。シンパシーは自分の内から自然に出てくる感情が優先されるのに対して、エンパシーは、たとえ相手の考えに同意できなくとも、いったん「自分事」として受け止め、自分だったら何ができるか、つまりは相手に寄り添ってみることで、自分と違う価値観や理念を持っている人が何を考えるのかを「想像する力」共感力ともいわれるスキルのことを言うようです。説明がとても難しいですが、エンパシーは「自己移入」とも訳され、「他人の靴を履いてみること」という例えがよく使われています。「他人の立場に立ってみる」「相手の視点から眺めてみる」「相手が感じるよう自分も感じてみる」これがエンパシーの意味する「共感」です。

福祉の現場においても、「共感すること」はとても重要なスキルです。変化や気づきを敏感に感じること、相手に寄り添うこと。そして一番大事なことはやはり想像力だと思うのです。私たちは自分の経験や価値観から思考し行動を起こします。しかし、そこに「他人の靴を履いてみる」想像力があるかないかで、大きな違いが生じることを思います。ブレイディみかこさんは、まず自分の靴が脱げないと、他人の靴は履けないと言われます。自分の土俵でしか物事を見る事ができない人は、相手に自分の靴を履かせる危険性を持っていると指摘しているのです。エンパシーを意識することで、コミュニケーションの幅は広がり、更にベースとなる信頼関係も深まるでしょう。

多様性の時代、様々な価値観や考え方があり、自分に合うスタイルを選択できる社会になりました。エンパシーによる共感は、たとえ相手の考えに賛成できなくとも、その心情を汲むことで分断を回避し、建設的な議論を推し進める力を生み出します。その力こそ、お互いを認め合い、共に生きる社会、そして平和な世界を創造するキーワードになるのではないでしょうか。

## 全体研修会

今年度は4月22日(金)に愛実の会全体研修会を行いました。

午前中は、全体ミーティングとして理念の共有～愛実の会のめざすもの～、2022年度の運営方針、各部署の目標の発表などがありました。理念の共有では、理事長よりシェル・シルヴァスタイン作(ほんだ きんいちろう訳)【おおきな木】の本の紹介があり、寄り添うこと、無償の愛の大切さについてのお話しがあり、愛実の会の理念を皆で共有し再確認することができました。

午後には、名古屋市消防局の方々をお招きして普通救命の講習を行いました。

参加したアシスタント全員が人形を用いた心肺蘇生(胸骨圧迫)を行い、研修用AEDを使用して倒れた人を発見してからの応急処置の実技を体験しました。

講習を終えたアシスタントからは、以前にも講習したが覚えていたつもりでも忘れているところがあるという声も多く、また命を救うということは勇気と明確な判断、スピードーな行動が必要であり、何としてもこの人を助けるという強い気持ちが必要だと感じたことや、消防局の方の「人生の中で1回あるかどうかの応急手当」という言葉がとても印象的だったという感想がありました。私たちが心肺蘇生を行えば、救急車が到着してから救急隊が心肺蘇生を行う場合と比べ救命の可能性は2倍に増加するということからも、自分一人では無理でも、周りの人に協力を求めて早い通報、応急手当の必要性を感じ今後に活かしていきたいと思います。

## 居宅介護事業所あみ



夏本番だよ～暑さ対策♪



サービス提供責任者 齊藤美佐子

あつという間に終わった梅雨のあとは、暑い暑い夏がやってきます。夏生まれの私は、「暑いの平気だがね」と名古屋弁でさらっと言いたいところですが…湿気に弱い…名古屋特有の暑くて、ジメジメと湿気が多いのがとにかく苦手。日傘や冷却タオル、ハンド扇風機やネッククーラーなど色々試しました。ネッククーラーは気のせいか?ピリピリして電気が流れている気がして中断…冷却タオルは冷えるが首元ベタベタ。そして…いきなり猛暑になった今年は、流行りの「アイスリング」を購入し、ウキウキ気分で使ってみました♪流行るだけの理由がありますね♪なかなか良い感じです。

写真のように、なるべく木陰を通ったり、水分補給をこまめに摂取して熱中症対策をしています。



介助で必要な消耗品などはもちろん購入してくれます。ある日の会話…齊藤「空調服がほしい」責任者戸田「良いと思うものを買つていいですよ」の、一言で今年は空調服で暑さを乗りります♪皆さん、熱中症に気を付けてくださいね。

大流行の  
アイスリング



経費で  
買った  
空調服

## 2021年度事業報告

愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しつつより良いサポートを目指し下記の3つの事業に取り組んでいます。

### ① 生活介護事業

契約メンバー数 29名(2022年3月31日現在)1日平均 13.7 名の利用(定員20人)

新型コロナ感染予防を重点的に行い、活動の制限や生活のスタイルを変えながら対応してきました。7日間の休所もありましたが、感染拡大すること無く、メンバー・職員の安全を第一にし、安心して通える場所を確保しながらメンバーの笑顔を大切に寄り添う支援を実践した一年となった。

### ② 居宅介護・重度訪問介護

ホームヘルプとして(朝・夕の介助、入浴、通院、入院時、外出支援、家事等)を行い、安心できるサービス提供の支援を行った。2021年度利用:月平均123件(前年度99件)、コロナ禍の影響により今年度も利用のキャンセル等多数ある中で、サービス提供を増やすことができた。重度訪問介護については、地域自立生活支援として24時間のケアを実践し、継続的支援体制が整ってきた。

### ③ 独自サービス事業について (緊急時対応有料サービス)

コロナ禍の影響から利用件数は更に減少傾向となった。71件(前年81件)

主なサービス内容(デイサービスの延長:朝・夕、入院時付添い、通院・外出時のサポート)

### ★ 支援体制について 総数37名(2022年3月31日現在)

正職員17名、嘱託職員 2名、その他パート18名(生活支援員・看護師・給食・ドライバー・ヘルパー)

※ 詳細については、愛実の会ホームページより、見える化→2021年度事業報告を参照ください

## 2022年度 愛実の会運営方針について

- ① 新型コロナウイルス感染症及び防災の業務継続計画(BCP)の充実
  - ・感染の拡大状況下にあっても事業の継続を目指し、対応力を強化
  - ・メンバー、家族、職員、その他関係先への安心できる支援の連携を目指す
  - ・災害時における業務継続計画(BCP)の作成及び防災訓練・減災への意識強化
- ② NPO法人設立15周年を節目として、将来のビジョンの明確化
  - ・15周年記念イベントの開催を2022年秋に実施
  - ・シェアハウスの5年構想の具体化及びこれからの地域生活支援の課題の共有
- ③ コミュニケーションの円滑化及び個々の気づきを大切にした取り組みの実施
  - ・個々の気づきの共有を日常化していく
  - ・運営会をはじめ、各会議の充実、連携・協力・役割分担の明確化
- ④ 愛実の会の活動を地域社会に紹介をしていく
  - ・愛実の会法人新パンフレット及び会報の地域への配布
  - ・災害時を想定とした地域との共助できるつながりへ
  - ・ホームページにて見える化及び情報発信による広報活動の充実



# 活動計算書

2021年4月1日～2022年3月31日

特定非営利活動法人 愛実の会

科 目	金 額		単位:円
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費 正会員受取会費	117,000	117,000	
2. 受取寄附金 寄附金 夢づくり 受取寄付金計	1,877,280 139,411	2,016,691	
3. 受取助成金等 受取助成金	585,061	585,061	
4. 事業収益 1)生活介護事業収益 生活介護事業収益 食事収益 就労支援事業収益	95,446,030 92,929,230 2,469,900 46,900	116,924,281	
2)居宅介護事業収益	21,416,751		
3)移動支援収益	0		
4)独自サービス事業収益	61,500		
事業収益計		4,824,972	4,824,972
5. その他収益 雑収益			124,468,005
<b>経常収益計</b>			
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費 (1)人件費 給料手当 法定福利費 福利厚生費 人件費計	70,261,056 9,079,100 638,106	79,978,262	
(2)その他経費	29,784,711		109,762,973
事業費計			
2. 管理費 (1)人件費 役員報酬 給料手当 法定福利費 福利厚生費 人件費計	6,000,000 3,807,216 1,274,938 35,712	11,117,866	
(2)その他経費	3,231,108		14,348,974
管理費計			
<b>経常費用計</b>			124,111,947
当期経常増減額			356,058
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			285,058
前期繰越正味財産額			67,951,310
次期繰越正味財産額			68,236,368

※貸借対照表はWeb:愛実の会ホームページ及び内閣府NPO法人ポータルサイトより「愛実の会」検索にて閲覧することができます。尚、皆様から頂いた寄付金は、①新型コロナ感染予防対策費・支援体制強化費 ②紙風船夢づくり(新作人形劇制作)等のために活用させていただきました。感謝を持ってご報告させていただきます。



# 大地の家

4月-7月

## 2022年度の目標！

- メンバーやの思い、気持ちを汲み取り、寄り添えるような関係作りを目指す
- 外に出にくい今の時代だからこそ、「季節感」を改めて重点的に捉え、日常の活動の中でも季節を感じられるよう意識したい
- 距離をとりつつもお互いの存在を認識し、それぞれの関りを大切にしていく

昨年度は外出の機会が減ったことで、季節を感じられる機会が減少しました。工作やレクリエーションを通して季節感を感じられるよう努めてきましたが、なかなかメンバーが実感するというところにまで結びつかなかつたように思います。

昨年も感染症の影響により、遠方や人の多い場所、飲食を伴う外出はできませんでした。

しかし、制限を受けることはあっても、工夫を凝らしながら外出活動を実施したいとの思いが強くありました。

感染症の影響やほかの人との距離の取り方などについて検討を重ね、近場の公園や散歩外出は春と秋を中心に積極的に行なうことができました。

短い時間でしたが、みんなで外に出かけることで気持ちを切り替えられたメンバーもいました。

メンバーの笑顔を見て、散歩はコロナ禍でも続けていきたい活動だと思いました。

今後の外出も制限の中での外出となります。メンバーからあふれる気持ちを受け取って楽しい時間を共有していきたいと思います。

コロナ禍が始まってからの2年の間に、生活の変化が生じましたが、それも日常化してきました。活動の都度消毒作業を行ったり、昼食前後の消毒を実施するなど、増えた業務はありましたが、活動の規模を縮小したり、取りやめることなく続けてきました。

コロナに負けず、活動の充実を図ることができたのは、同じ時間、空間を共有し、お互いの存在をしっかりと認識しながら関わることが出来るように意識してきたからだと思います。



↑ レク(お手製ジェンガ)の様子



↑ 誕生日会にて花束贈呈



↑ 距離を開けてレクリエーション

メンバーとアシスタントのそれぞれがお互いを大切に思い尊重すること、自分たちの間にある繋がりを今後も大切にしていきたいと思います。

また今年度は分かち合いも重点項目として考えています。

先日の会議では2年ぶりに分かち合いをして、この2年間にあったことを共有しました。

分かち合いには人と人とのつながりを取り戻す効果があると言われています。

アシスタント同士のつながりを強いものにし、チームケアの実践に活かしていきたいと思います。

## 手帳を持ってお出かけ♪

今年度はコロナの影響を受けつつも、活動の幅を広げていこうと考えています。

活動の幅を広げるという意味合いで、今年度は昨年度には行けなかったところへ行こう！と考えています。

初っ端の外出は、ワイルドフラワーガーデン・ブルーボネットでした。

2年以上の間を開けて、久しぶりに障害者手帳と入場料を持って外出しました。

マスクを着けられないメンバーが複数いる中で、室内の人が集まるところへの外出はまだ考えられません。

しかし、昨年までの外出から一歩前進、というところで有料施設に出かけたいとの思いが強くありました。

施設にも状況を説明し、屋外の庭園なのでマスクができなくても来園可能だと承諾を得ました。

当日は久しぶりの有料施設へのお出かけとあって、アシスタント間で盛り上がっていたことを覚えています。

アシスタントだけかと思いきや、メンバーのご家庭でも手帳や入園料の準備をしていただく段階で、気持ちが盛り上がってきましたというお話を聞くこともありました。

メンバーにもその気持ちが伝わったのか、メンバーも手帳を持ってお出かけということに興奮しているのか、どのメンバーもいつもの公園とはまた違った表情を見せてくれました。

当日は多くの笑顔を見る事ができ、コロナ禍にあっても挑戦し続けることの大切さを学んだように思いました。

まだまだハードルはありますが、少しずつチャレンジを繰り返しながら前進していきたいと思います。





# 紙風船のページ



## 新メンバー紹介



素敵な笑顔！

四月から、紙風船に新しいメンバー山田浩貴さんの通所が始まりました。山田さんはあまりお話をされませんが、いつもニコニコしていく紙風船を和ませてくださいます。また手先が器用で、山田さんがちぎった紙片を紙風船の壁画や人形劇の小道具に利用させてもらったりしています。

今までとは違う環境に、まだ戸惑うこともあるかと思いますが、少しずつ紙風船の雰囲気に慣れ、将来的には人形劇にも参加できるようになれるといいなと思っています。これからよろしくお願いします！



夏の壁画の一部

## 協力者の思い～一年を振り返って～

紙風船生活支援員 山崎志保

紙風船で働き始めて一年がたちました。いつか人のためになる仕事がしたいと思ってきました。しかし介護職の経験がなく、障がいを持つ人に接する機会もなかった私は不安で一杯でした。面接後に見学させていただいて、初めてメンバーとお話した時、その不安やそれまでの障がいを持つ人へのイメージがすっと消えたことを覚えています。障がいを抱えていても、明るい笑顔で私を迎えてお話ししてくれたことが新鮮で、とても嬉しかったのです。

そして、温かいアシスタントの皆さんに教わり、励まされ、助けていただきながら仕事を一つずつ覚えていくことができました。時にはメンバーに教えられて気づくことがったりまた励まされることもありました。

素晴らしいと思ったのは人形劇でした。メンバーとアシスタントがひとつになり、メンバーの夢と思いを人々に届けていくことができるからです。一生懸命に役を演じている時のメンバーは輝いていると思います。

紙風船のテーマソング「風をください」の歌詞の一部です。

～ わずか3センチでも動かせる身体と声があれば  
人形に命を吹き込んで 君に届けられる  
…みんなの思いがひとつになれば 大きな風になる ～

私は、アシスタントとメンバーが助け合い共に歩んでいける温かな紙風船が大好きです。そしてこのような出会いに感謝しています。これからは、人形劇のことももっと学び理解して、メンバーと共に夢を追いかけいけたらとても嬉しいです。



お誕生日会にて

# 優しい心 人を愛する心 の 持ち主にしか見えない服



人形劇団紙風船  
新作人形劇

## 「はだかにされた王様と大臣」

”こんにちは”

2年に及ぶコロナ禍の中、やっと新作の人形劇を見ていただくことができます。

本当に長い間、室内での稽古の連続で、メンバー、スタッフは、大変な思いで頑張ってきました。

そんな中、紙風船の創設期のメンバー、重利君が紙風船を卒業・そしてよっちゃんが天国に旅立ちました。今、新しいメンバーで新作に挑戦し、やっとそれなりの形になってきました。まだ完成にはほど遠く、メンバー、スタッフの励ましのための試演会です。どうぞ温かく見守ってください。

今回の作品は、”裸の王様”を少しアレンジした作品です。いま世界は戦争！腐敗、詐欺、いじめ、など誰かが本当に声を上げなければいけない状態です。戦争はダメ・腐敗は正す・いじめはダメ・とはっきり言える世界の來ることを願って！

～アトリエ羅道 おばらしげる～

二〇二三年八月二十七日(土)

初演決定！！



## 沖縄美ら海水族館物語

島 しづ子

みなさま、お久しぶりです。暑い日々、お大事になさってください。沖縄では新型コロナ感染者数は減っていますが、観光客が多くなってきました。来沖を控えていた友人たちもぼつぼつ訪問くださるようになりました、私も忙しくなってきました。先週の友人夫妻は初めて沖縄に来られました。夕方到着の便でしたから、瀬長島で夕陽を見ながら夕食をと思って瀬長島に行きました。そこからの夕陽は素晴らしいはずでしたから。ところが急に大雨が降ってきました。沖縄ではカタヅイと言います。一部分だけで雨がスコールのように降るのです。とても車の外に出ることができません。仕方なく、場所を変えようと車を進めました。道の駅いとまんで美味しいもの食べようと考えて行きましたが、もう店は閉まっています。雨は上がっていたので、近くまで来たからと、南部の戦跡である「ひめゆり平和祈念資料館」「魂魄の塔」「米須海岸」「摩文仁の丘」に行きました。日の入りまでは時間があつたので暑くもなく、散策にはぴったりでした。平和祈念公園の中に摩文仁の丘があります。そこに沖縄戦で亡くなった方々の24万人余の名を刻んだ「平和の礎」(へいわのいしじ)があります。そこでは0、1、2歳、あるいは十代で亡くなった方々、一家全滅した方々の名を認めながら歩きました。摩文仁の丘に続く大海原は白波を立てて、平和の尊さを語っていました。その後、西崎にあるお店で慶良間諸島に沈んでいく夕陽を見ながら食事をしました。ひさしぶりのおしゃべりに喉が痛くなりました。

翌々日は「美ら海水族館」に行きたいと言うので「なぜ行きたいのですか?」と聞きました。友人は障がいを持つ方々のグループホームを運営しています。なので障がいを持つ方の家族と親しくされています。あるご家族の物語を聞きました。お父さんが沖縄に単身赴任しておられたそうです。自閉症を持つ娘さんとお母さんが沖縄に来ようとしましたが、娘さんは飛行機が怖くて乗るだけでも大騒ぎだったそうです。ご両親は美ら海水族館に娘さんを連れ出しました。初めての経験や暗い所が苦手な娘さんです。きっと冒険だったことでしょう。

美ら海水族館は明るく、広く、巨大水槽「黒潮の海」ではジンベイザメ、マンタ、そのほかたくさん魚が目の前で泳いでいます。熱帯魚の海ではサンゴ礁の海域を再現し、明るい場所や洞窟まで再現されてカラフルな魚たちが円舞しています。水族館の魚たちを見た娘さんは魚が大好きになりました。それからは沖縄に行くことを喜び、飛行機に乗る時も「美ら海水族館に行けるよ」と言えば、静かに乗れるようになったそうです。その後には暗い映画館も苦手だったのに、「ニモ」の映画を観ることを喜び、映画館にも入れるようになったようです。

友人はこのように娘さんの好きな世界を広げてくれた「美ら海水族館」を見たかったと言いました。美ら海水族館からの景色も雄大ですし、屋外にはイルカショウもあります。友人たちは二時間水族館を見て回り、堪能したようです。一日いても楽しめる場所でしょう。私は以前一人で行った時に、巨大水槽の横にあるカフェ「オーシャンブルー」で過ごしました。マンタが何度もそばに来て、話かけてくれました。美ら海水族館を見直す機会を与えてくれた友人たちに感謝しています。実は私も新しいことは苦手です。でも「エイヤ!」と飛び込んでみると、新しい世界を知ることができます。沖縄は最高気温が36度くらいなので、名古屋よりはしのぎやすいです。日差しは刺すように痛いので肌を出す水着や街着は危険です。もう腕も顔も真っ黒です。いつか沖縄でお会いしましょう。

## 【N P O 愛実の会寄付者名 (敬称略・順不同) 2022年3月1日～2022年6月30日】

### ★寄付金

鈴木 あつみ	宮崎 正和	佐野 都吾
片桐 美由紀	青本 光子	加藤 勝敏
安藤 真知子	伊藤 晓子	出口 尚
吉岡 満智子	伊藤 幸雄	塩田 保
土屋 美恵子	山崎 京子	南 寿樹
須田 静代	有村 良子	杉本 誠
島 しづ子	戸田 真二	有賀 進
田中 正文・孝子	吉谷 尚之(複数回)	
教団)名古屋桜山教会	教団)名古屋中央教会	教団)愛知教会女性の会
教団)西尾教会婦人会	在日大韓基督教会名古屋教会女性会	
学校法人金城学院	中部学院大学	

### ★紙風船夢づくり

渡邊 誉	山田 美紀	田中 正文・孝子
------	-------	----------

愛実の会の活動、紙風船夢づくりのために多くの方々より寄付金を多数お寄せくださいまして、ありがとうございます。

## 福祉車両購入資金として助成金をいただきました

この度、公益財団法人 洲崎福祉財団様より、令和3年度下期一般助成として、福祉車両購入資金の助成をいただきハイエースを購入しました。メンバーの送迎用として、新型コロナ感染が落ち着きましたら遠足等の遠出に使用したいと思います。

公益財団法人 洲崎福祉財団様には、こころから感謝とお礼を申し上げます。大切に使用させていただきます。誠にありがとうございました。



## 事務局からのお知らせ

### 2022年度 寄付金目標額 220万円～

- \* アシスタント支援体制の充実
- \* 紙風船人形劇の制作
- \* 土地建物建設資金(シェアハウス)

2021年度目標額200万円に対して、2,016,691円のご寄付をいただきました。感染症予防対策や紙風船の人形劇の制作費に活用させていただきました。本当にありがとうございました。

2022年度は、アシスタント体制の充実、紙風船の人形劇制作の他に土地建物建設資金(シェアハウス)を募りたいと思います。

メンバーが日々安心・安全な生活ができ、私たちにできることを考えながらメンバーとのかかわりを大切にしていきたいと思います。

ぜひ皆さんのお力を貸していただければ幸いです。。

#### 【所在地・連絡先】

##### 特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

□ 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）  
〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24  
TEL：052-693-7645 FAX：052-746-2639  
□ 障がい者デイセンター愛実（生活介護）  
〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24  
TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889



E-mail info@aminokai.com  
ホームページ http://www.aminokai.com

または [愛実の会](#) [検索](#)

#### 【「認定NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490  
□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 1□1,000円 何口でも結構です

- ◆ 寄付金（賛助会費・NPO愛実の会の活動に関する費用）
- ◆ 紙風船夢づくり（人形劇制作費、公演活動に関する費用）